

発行 日本音楽療法学会

理事長 村井 靖児 副理事長 藤本 禮子

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

名誉理事長・理事長・副理事長 ご挨拶

名誉理事長
日野原重明



2001年4月に日本音楽療法学会が発足して以来、私は当会の理事長を務めてきました。毎年、全国各地で開催されてきた学術大会も年々盛んになり、音楽療法が医療、福祉、健康、教育の各領域において深く根付いてきたことが実感されます。残念ながら、私が理事長在任中に国家資格の制定には至りませんでした。私と共にその働きかけを担ってこられた村井靖児新理事長のもとで引き続きこれに取り組んでいただきたいと思います。願っております。

国民の心からの支持を得てこそ、音楽療法は真にその意義が認められることになります。会員の活躍を願ってやみません。

理事長
村井 靖児



この度、前理事長日野原重明先生の後継として日本音楽療法学会の理事長に就任いたしました。身に余る大役ですが、日野原先生のご功績を崇めつつ、そのご意思を継承して、会員の皆様の協力を頂き新たな学会運営を担っていく所存でございます。

当学会は2001年に誕生して今年で16年目を迎えました。音楽療法士の国家資格化は未だ実現していません。今後はその悲願達成に向けて全力を傾注したいと考えております。その第一は、音楽療法の社会的認知度を高めることが重要であり、そのために従来の施設型音楽療法に加え、数年前から着手している一般市民を対象とした「音楽療法地域プラン」の実践を更に加速して参ります。第二として他職種ではすでに行われている認定の上位資格制度を創設して、その制度を音楽療法にも取り入れることで音楽療法士の質の向上を目指して参ります。第三は関連する他団体との連携です。そしてその団体の資格者が学会認定を得易くする資格条件の構築を先方と協議したいと考えております。実現すれば認定者の拡大と裾野の広がりにつながります。第四は議連活動の復活です。議連を早急に立ち上げてもらうよう努力して参ります。そして2017年に迫った日本における世界音楽療法大会を成功に導くことに一層邁進します。これらの延長線上に国家資格化が実現すると考えております。

最後に会員の皆様には今後とも学会の発展と音楽療法の普及・啓発にご尽力いただきまして、国民の幸福に音楽療法が一層貢献できることを願っております。

以上所信を申し述べまして新理事長としてのご挨拶といたします。

副理事長
藤本 禮子



第5回役員選挙におきまして副理事長に選出され今般就任いたしました。重責ですが、これから3年間村井靖児理事長を補佐して、学会のためにお役に立つべく力を尽くす覚悟でございます。

音楽療法に携わるようになりまして30年が経過しました。1994年の臨床音楽療法協会、それに続く全日本音楽療法連盟、そして日本音楽療法学会の設立に立ち会いまして一途に進んでまいりました。今後3年間は副理事長として、また国家資格推進委員会委員長として学会設立以来、日野原重明先生、村井靖児先生が全会員と共に取り組んでこられた音楽療法士の国家資格化運動の推進とその実現に向けて努力して参ります。音楽療法推進議員連盟の活動の再開を働きかけ、そのためのなすべきことを分析・検討して具体的に実行していきたいと考えています。

これは会員の皆さまのお力なくしては実現できません。ぜひ積極的なご意見とご提案を寄せていただきますよう、ご協力をお願いしましてご挨拶といたします。

第16回日本音楽療法学会学術大会（仙台）へのいざない

大会長 高山 仁

杜の都仙台の街路樹は透けるような若葉が萌えはじめました。異常気象とはいえやはり季節はめぐり、私たちに大きな恵みをもたらしてくれています。梅雨を前に会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第16回日本音楽療法学会学術大会開催まで数ヶ月となりました。現在、実行委員一同より良い大会を目指し、最終的な準備に追われております。会員の皆様に本紙一面をいただき、ご案内をさせていただきます。

本大会は「今、ここで（東北で）」感じ・考えることに意義を見出しながら、人間という不思議な生きものについて音楽療法を通して考えてみたいと思います。テーマは「関係性」とし、さらに「わたし」の中核に注目し「からだ・こころ、そして他者^{あなた}を見つめて」と致しました。私たちは大震災を経験し、改めて「人の生や死、繋がること、音楽すること」などについて考えさせられました。今回はこれらについて、共に広く深く見つけ直してみたいと思います。

1日目の講習会は大会と統一のテーマにて開催し、1・2講では「カラダ・ココロについて」近接領域の先生方に、それぞれご専門の立場からご講義いただきます。続く3・4講は2コマ通しでの受講となりますが、音楽療法士8名の先生方に大会テーマを意識しながら180分間存分にお話しいただきます。必ずや音楽療法の実践・研究に役立つものと期待しております。

同日夜のプログラムとして、震災関連企画のご案内をさせていただきます。3・11がまだ現実の問題として続いている中、「東日本大震災と音楽療法」などの具体的なテーマに関しては、少なくとも10年以上のスパンで扱うことが適当だろうとの結論に達しました。そこで今大会では、特別企画「東日本大震災を語るⅠ」として講習会後に自由参加として、郡山にて行政と協働で子ども達のために「屋内大規模遊戯施設」を設立した菊池信太郎医師、震災直後から宮城県内の支援イ

ベントで使用された音楽について3年間調査をされた小塩さとみ教授、宮城県沿岸部において震災直後の救援活動に奔走した菅野武医師、そして、生死の問題に直接関わられた臨床宗教師の金田諦應住職、以上4人の先生方にご講演をお願い致しました。貴重なお話しが伺えることと思います。

尚、最終日には同企画「東日本大震災を語るⅡ」として智田災害関連委員長に、体験的なお話をお願い致しました。

2日目からの大会は、新理事長の講演に続き、映画「ラストエンペラー」で情緒溢れる二胡を奏でた姜建華先生をお迎えし、「こころ音」と題した特別コンサートの企画を進めております。基調講演は、哲学者で東京大学・死生学応用倫理センター特任教授の清水哲郎氏にお願いし、マクロな視点からテーマへの思考を深め、教育講演では、学習院大学文学部教授・民俗学者の赤坂憲雄氏に「子守り唄が聴こえる」と題して、日本人の心・文化などについてご講演をいただきます。また世界大会を前に、世界音楽療法連盟 Amy Clements-Cortes 会長の特別講演も予定しております。ご期待下さい。

学術大会の根幹をなす研究発表は、これまでの口頭発表・ポスター発表に加え、英語発表と課題研究発表を設定しました。課題研究のテーマは「音楽療法における関係性」となりますが、今回は人と人との関係性に留まらず、カラダとココロ、または音楽やモノ（楽器など）との関係性も含め、広義的に捉えたいと思います。

年1度の大会は、会員の皆様にとって再会、出会いの場でもあるでしょう。2日目夜の交流会は立食にて同会場で行います。津波で大きな被害をうけながらも活動を続けている宮城県名取市「関上太鼓保存会」の皆様には力強い演奏をご披露いただきます。どうぞお楽しみ下さい。

ココロもカラダも喜ぶ3日間に是非ご参加下さいますよう、心からお待ちしております。

（9月16日講習会・特別企画、17日・18日学術大会）

—音楽療法推進特別委員会からのご報告—

音楽療法推進特別委員会
委員長 藤本 禮子

音楽療法推進特別委員会は、音楽療法士養成認定校・学会の会員数の減少などへの対策を検討する時限的な委員会として2014年1月に発足いたしました。委員会の活動は大きく(1)音楽療法の普及・啓発 (2)音楽療法士の質の向上 の2つに分けられます。これまでの活動については、学会ニュース28号、29号、30号で報告いたしました。30号では、関東・近畿・中国支部で2年間試行されているラーニングサポートセンター（LSC）を中心に報告いたしました。今回は、3支部でのLSCのその後の状況を含め、その他の活動について報告いたします。

1. 2015年度 LSC 講習会

関東支部では音楽療法士の自立と仲間づくりを目的とし、ピア・スーパービジョン（PSV）とワークショップ（WS）を内容としたLSC講習会を5回開催しました。合計参加者数は、約180名でした。2016年度は今後の全国展開を視野に入れ、PSVのファシリテーター養成を含めた講習会3回の開催を予定しています。

近畿支部では、ベテランの音楽療法士と若手の出会いの場、若手同士の仲間づくりの場になることに配慮し、より良い音楽療法を実践できる力をつけることを目指し、Aコース（6～8月の土曜日）、Bコース（10～12月の日曜日）を設け、90分講座2コマを3回ずつ開講し、34人が受講し近畿学術大会への研究発表に5名が応募しました。

中国支部では、初回のLSC講座を11月29日(日)に広島にて開催いたしました。参加者は11名でした。「基本に戻る」というテーマで行われた講演は、音楽療法における「援助」関係について、音楽療法士とはどういった存在か、「どんな人」であるべきかなど、改めて専門職としての自身のあり方について見つめる機会となりました。参加者アンケートでは、ディスカッションできる時間が多く参加者間の交流が図られたことが挙げられていました。現在、第2回のLSC講座について検討中です。参加者アンケートで希望の多かった、PSVを取り入れようと考えています。

2016年度LSCは試行2年目に入ります。施行後2年間の総括を行い、その後の全支部での展開について検討いたします。

2. その他4つの活動

1) 「音楽療法の紹介」パワーポイントの作成

音楽療法の基本的な内容についてのパワーポイントを作成しました。

会員の皆様にお使いいただけるように近々ホームページにアップされます。ご利用ください。

2) 高校生の進路意欲を喚起することを目的とした音楽療法士についての漫画とチラシの作成

①音楽療法についての漫画「音楽療法士のお仕事」を、漫画コースの専門学校生に協力いただき作成いたしました。全国の認定校などに配布し、HPにもアップいたしました。ダウンロードできますので是非ご利用ください。

②音楽療法士についてのチラシ「音楽療法士になる」を作成しました。音楽指導者及び高校生に広く配布できるように、現在各方面に働きかけています。ホームページにアップすることも検討されています。

3) 音楽療法紹介パンフレット

認定校を卒業した方々を含め音楽療法士として就職を希望される方々が、就職の際に持参・使用するための音楽療法紹介パンフレットの作成に取り掛かっています。

4) 音楽療法の普及を目的とした市民講座の開催

教育関係者・行政関係者・音楽療法を必要とされる方々とその保護者・介護者の方々など多くの方々を対象とした音楽療法講演会の開催を進める方策を検討しています。

以上これまでの活動の状況をご報告いたしました。会員の皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

■ 日本音楽療法学会 第16回音楽療法士(補)資格審査(筆記試験)実施要項(抜粋) ■

次の要領で2016年度音楽療法士(補)資格試験(筆記審査)を実施します。この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適性を確かめる目的で行われます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)の資格を得ることができます。音楽療法士(補)資格取得者は、認定規則(面接試験)に沿って学会に申請すれば、面接試験(弾き歌いと口頭試問)を経て正規の音楽療法士として認定されることとなります。

1. 試験日時：2017年1月15日(日)
2. 試験会場：日本教育会館
3. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン11に含まれる教科全般
4. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの履修生(卒業見込み者・既卒者)および新認定制度における必修講習会受講修了生
5. 受験手続：認定校の既卒者・卒業見込み者
各認定校に送られる試験実施要項に沿って申込期間に申請してください。
必修講習会受講修了者
音楽療法士認定規則(一般コース)に沿って申込期間に申請してください。
6. 申請期間：2016年11月16日(水)～11月30日(水)までに学会事務局必着
7. 合格発表：2017年1月下旬
学会HPにて合格者の受験番号を発表後、合否に関わらず受験者本人宛に文書通知します。
8. 試験形式：マークシートによる多岐選択形式100問と、提示するテーマに沿った論述
受験票、筆記用具、時計のみ机の上に置くことができます。
9. その他、試験時に特別な援助などが必要な場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
10. 合格者のうち、認定校を卒業見込みで受験した者は、卒業後に卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。送付してきた者について当学会音楽療法士(補)の資格証明書を発行します。既卒者には合格発表と同時に発行します。この証明書は学会認定音楽療法士の面接試験を申請する際に必要となります。



■ 2015年度資格試験受験認定校一覧 ■

都道府県	学校名	都道府県	学校名	都道府県	学校名
茨城県	茨城音楽専門学校	千葉県	聖徳大学	愛知県	名古屋芸術大学
長崎県	活水女子大学※	大阪府	相愛大学	東京都	日本大学芸術学部
愛知県	金城学院大学※	神奈川県	東海大学	熊本県	平成音楽大学
東京都	国立音楽大学	東京都	東京心理音楽療法福祉専門学校	宮崎県	宮崎学園短期大学※
岡山県	くらしき作陽大学※	京都府	同志社女子大学	兵庫県	武庫川女子大学
埼玉県	国際音楽療法専門学校	埼玉県	東邦音楽大学		
北海道	札幌大谷大学	長野県	長野医療衛生専門学校		
神奈川県	昭和音楽大学	愛知県	名古屋音楽大学		

※ ※印は認定校コース新入生の募集停止中(発行日現在)

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】〒065-8567 北海道札幌市東区北16条東9丁目1-1 札幌大谷大学関谷研究室
TEL：011-742-1796 FAX：011-742-1718 E-mail：jmt.hokkaido@gmail.com

2016年度総会および第29回講習会

開催日時：2016年5月22日（日）10：00～16：30

会場：札幌大谷大学 響流ホール

内容：教育講演

宮本 礼子氏（明日佳病院認知症総合支援センター長 内科医師）

「欧米に寝たきり老人はいない」～自分で決める人生最後の医療～

総会・一般演題発表・ビデオ研修

問合せ先：上記事務局

§ 東北支部

【事務局】〒020-0117 岩手県盛岡市緑が丘2丁目14-43 渡邊方

E-mail：jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

※2016年4月より事務局が変わりました。

1. 役員体制 2016年4月より3年任期にて、新役員8名が選挙選出されました。
支部長：須佐涼子、事務局長：渡邊恵里
各県代表：阿部さつき、佐藤敦子、高山仁、平間史恵、舩屋晶子、山内郁子

2. 第16回東北支部学術大会および総会

開催日時：2016年10月30日（日）10：30～17：30（予定）

開催場所：仙台市内（予定）

大会長：須佐涼子 実行委員長：前田千枝子

大会テーマ：「音楽療法における関係性を考えよう～臨床の知をめぐって～」

内容：講師 生野里花氏（東海大学／野花ひととおんがく研究舎）

①「かかわることと見つめること～臨床の知をめぐってから：復習編」

②「かかわることと見つめること～臨床の知をめぐってから：総括編」

問合せ先：上記事務局

§ 関東支部

【事務局】〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミ株式会社内
(名称が変わりました)

TEL : 0276-55-6344

FAX : 0276-55-5022

E-mail : mtkanto@jmta-kanto.jp 支部 HP : <http://www.jmta-kanto.jp/>

第15回関東支部講習会・地方大会（茨城）のご案内

開催日時：2017年2月26日（日）

会場：茨城県立県民文化センター 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保697番地

大会長：高橋多喜子

大会テーマ：心の声に耳を傾けよう

問合せ先：上記実行委員会 詳細は支部ホームページをご覧ください

研修講習会「臨床から事例発表へ」のご案内

開催日時：第5回2016年6月19日（日） 10:30~16:00

第6回2016年11月13日（日） 10:30~16:00

会場：日本福祉教育専門学校高田校舎

内容：午前中 講演会 午後 事例発表2題

問合せ先：詳細は支部ホームページをご覧ください。

研修会「日本音楽療法学会ラーニングサポートセンター（LSC）関東支部講習会」のご案内

開催日時：第6回2016年5月15日（日） 第7回2016年8月21日（日）

第8回2016年12月11日（日） いずれも10:00~16:30

会場：日本福祉教育専門学校高田校舎

内容：ワークショップ、ピア・スーパービジョン

本研修は本部委託研修となります。

問合せ先：詳細は支部ホームページをご覧ください。

関東支部では、支部講習会・地方大会に加え、支部各都県にて開催する都県別講習会を実施しております。関東支部会員が所属する各都県で年1回開催されます。会員が所属する身近な地域で研修が受講できるうえ、各都県の会員同士の連携にもつながるものと期待されます。他支部会員の参加が可能な講習会もありますので、詳細は支部ホームページ等で随時ご案内いたします。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒940-0033 新潟県長岡市今朝白1-17-25

TEL & FAX : 0258-34-8338 E-mail : mtoofficeheisei27@gmail.com

第14回信越・北陸支部学術大会および総会

開催日時：平成28年6月19日（日） 10:00~17:30

会場：富山国際会議場（富山市大手町1-2）

大会テーマ：地域と生きる音楽療法

内容：市民公開講座（講師：高原 兄 氏）

大会長講演（富山県における音楽療法の現状と期待）

シンポジウム（地域コミュニティと音楽療法—その関係性を考える—）

研究発表 など

支部総会（13:30~14:30）

大会長：木戸 日出喜 副大会長：海老原 直邦

実行委員長：道下 和美 事務局長：藤掛 賜枝

§ 東海支部

【事務局】〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109
大垣女子短期大学音楽総合科 小西研究室
Email : jmta-tokai@jmta-tokai.sakura.ne.jp
支部 HP : <http://www.jmta-tokai.net>

東海支部では3月6日に静岡英和学院大学にて2015年度支部大会と総会を終えました。

2016年度の支部大会は名古屋音楽大学にて開催予定(日時未定)です。

今年度から新体制となります。久保田進子支部長、鶴飼久美子副支部長をはじめとして新たに役員に加わっていただいた方たちと、前回から引き続き担当する役員たちとで力を合わせてスムーズな運営を目指します。事務局は前年度までと変わりません。昨年度まで役員をご担当いただきました方々には、お忙しい中時間と手間をかけていただき支部のためにご尽力いただきましてありがとうございます。

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
E-mail : jmtak@guitar.ocn.ne.jp
支部 HP : <http://www.jmtak.com/>

1、支部役員体制が変わりました

支部長：大前哲彦 副支部長：鈴木暁子
事務局長：佃誉子 事務局次長：池田智子

2、第15回近畿学術大会・講習会・近畿支部第17回総会について

開催日：2017年3月4日(土)～5日(日)
開催場所：梅花女子大学 〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5
詳細が決まり次第、近畿支部ホームページに掲載いたします。

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX : 082-814-3161
E-mail : jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
支部 HP : <http://jmta-cc.org>

◎第16回支部大会・第23回講習会

開催日：2016年6月11日(土)・12日(日)
開催場所：下関市生涯学習プラザ II F風のホール
内容：11日講習会 講師 横山 順一氏・松原 まゆみ氏・林 隆氏
12日支部大会 総会 講演講師 荒木 志郎氏
問合せ先：中国支部ホームページをご覧ください。

他支部会員の参加も受け付けております。
皆様ご参加ください。

§ 四国支部

【事務局】〒799-2461 松山市鹿峰132-11 藤井澄子気付
TEL & FAX : 089-994-2698
E-mail : jmta-shikoku@md.pikara.ne.jp

1. 役員の交代

支部長 三崎 めぐみ
事務局 藤井 澄子

2. 支部大会

開催日時：平成28年11月23日（水）10時～16時

会場：聖カタリナ大学

大会テーマ：これからの高齢社会に音楽療法はどう貢献できるか

内容：教育講演 恒吉和徳（聖カタリナ大学人間福祉学部教授）「高齢社会の現状と提言」 他

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL : 093-691-3344 FAX : 093-603-7213

〈支部講習会：認定者対象〉

開催日時：2016年6月5日（日）10：00～16：00

会場：アクロス福岡 608会議室（福岡市）

内容：「集団精神療法」 講師：白石潔先生

〈支部講習会〉

開催日時：2016年7月18日（日）10：00～16：00

会場：くまもと森都心プラザホール（熊本市）

内容：「声のワークショップ」 講師：青拓美先生

〈支部大会〉

開催日時：2017年1月予定

会場：アクロス福岡（予定）

内容：支部年次大会（総会、研究発表他）

学会事務局からのお知らせ

■ 熊本大地震により被災された会員の皆様へ

今般の大地震で被災されました会員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。学会としてご支援の策を講じまして後日お知らせいたします。御身ご無事をお祈り申し上げます。

■ 2016年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日程：2017年2月11日（土）、12日（日）
 - 会場：東邦音楽大学 川越キャンパス（埼玉県川越市）
- ※詳細は次号でお知らせします。

■ 2016年度資格審査 面接試験のお知らせ

- 試験日：2017年3月11日（土）、12日（日） ※日程変更されました。
- 会場：東邦音楽大学 川越キャンパス（埼玉県川越市）
- 受験申請受付：2017年1月27日（金）～2月10日（金）（最終日必着）
- 書類審査結果：2017年2月下旬頃通知 ※合格者には実技を含む面接試験の案内が同封されます。
- 最終審査結果：2017年3月末日
- 2016年度に認定申請ができるのは、次のいずれかに該当する方に限定されます。
 1. 音楽療法士（補）の資格（合格年度に関わらず）を有する方
 2. 日本国外の音楽療法士資格を有し、日本において主セラピストとして1年以上の音楽療法の臨床経験がある方
 3. 日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を失効し、再度同資格の取得を希望する方
- 「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せて申請してください。取り寄せ方法については、25ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。
- 実技試験での使用楽器は、会場に設置してあるグランドピアノ、または受験者が持参したギターに限定されます。課題曲は学会HPに掲載されています。

■ 2016年度資格更新審査のお知らせ

- 対象者：第1回、第6回、第11回、第16回の認定者
- 申請受付期間：2016年10月17日（月）～10月31日（月）（最終日必着）※猶予を申請される方も左記受付期間に申請してください
- 最終審査結果：2017年2月初旬頃通知
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りします申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は25ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2016年度新年度が始まりました。年会費は別便でお送りする専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口
払込先	郵便振替口座	加入者名	：日本音楽療法学会
		口座番号	：00120-9-657711

■ 「スーパービジョンの手引」のご購入について

スーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行されています。（A4版60ページ、2015年8月発行）購入を希望される方は25ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は25ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。

■ <DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～>のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は下記「各種取り寄せ方法」をご覧ください。(一般の方に視聴していただくのに最適です。)

■ 映画「パーソナルソング」DVDご購入について

先般公開され話題となりました音楽療法関連の表記映画のDVDが発売されています。学会割引価格で頒布しますので、購入希望の方は下記「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

頒布価格1枚3,000円(税込、送料込)。(定価4,104円、税込)

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択いただき、規則書ファイル(PDF)をダウンロードしてご覧ください。

■ 第15回認定音楽療法士(補)試験問題解説集の発行について

2011年に発表された「カリキュラムガイドライン'11」適用の音楽療法コース既卒者、卒業見込み者および新認定制度における必修講習会の受講者を対象に、2015年1月17日(日)に第15回(補)認定試験を実施しました。2016年7月頃、この試験問題の解答と解説集が発行されます。第15回(補)認定試験受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外で購入を希望される方は下記「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL: 03-3813-6751 FAX: 03-3818-4634

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料のお取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒(例、規則書一般コース 請求)に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額(送料込)
認定音楽療法士(補)問題解説集	2001～2015年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～2005年度、2006～2010年度5カ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
規則書	一般コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新/資格更新規則細則	500円
その他	抄録の書き方	1,000円
	DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性	1,000円
	DVD「パーソナルソング」	3,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円

■ 事務局への各種お届けについて

○ 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

○ 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も明記してください。

※その他事務局への各種お届けについての詳細は、日本音楽療法学会ホームページにてご確認ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

○ 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書
手数料：500円

○ 音楽療法士登録証明書、賞状
手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ お詫びと訂正

音楽療法士（補）問題解説集について、つぎの誤りがありましたので謹んで訂正をさせていただきます。

*2006年度 問12の問題と解説 誤：並行調、正：平行調

*2007年度 問4の問題と解説 誤：係留音、正：掛留音

*2010年度 問16の解説

誤：a（回折現象）、d（反射現象）、正：a（反射現象）、d（回折現象）

■ 事務局職員の異動について

採用1名 こやまあきこ 小山朗子（2016年4月1日付け）